

# 放射性ばいじんの危険性

## 焼却炉排ガスが健康に及ぼす影響とは

放射性物質に汚染されたゴミが各地で燃やされています。環境省は、大熊町・双葉町にできる中間貯蔵施設に各地の焼却灰と除染土を集め、さらに高温で燃焼し土木資材にリサイクルしようとしています。すでに一般廃棄物の焼却灰は路盤材に使われています。

排ガスや焼却灰（特にばいじん＝飛灰）には、放射性物質、ダイオキシン、化学物質、重金属などが濃縮されていますが、健康や環境への影響を顧みられることはほとんどありません。シーベルトやベクレルで表すことのできない危険性について理解を深めたいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。



### 講師

**藤原寿和さん**（化学物質問題研究会代表）

**青木一政さん**（ちくりん舎、フクロウの会）

**中西四七生さん**（たまあじさいの会）

日時：**2018年4月15日**

**13:00~16:30**（開場12:30）

場所：教職員組合郡山支部 会議室

交通：郡山駅よりバス・徒歩

（送迎あり・事前にお申し込みください）

資料代：500円

共催：放射能ゴミ焼却を考えるふくしま連絡会

ちくりん舎

たまあじさいの会

申込み：080-6010-3750（連絡会・和田）

042-519-9378（ちくりん舎）

stopshokyakuf@yahoo.co.jp

lab.chikurin@gmail.com



会場 郡山駅前よりバス「郡山女子大」下車12分  
国道49号線より一本東の道を北へ250m  
場所が分かりにくいいためあらかじめご確認の上  
ご来場ください。



中西四七生さん

## 微小粒子の毒性と、排ガス中の物質の毒性について

日の出処分場とエコセメント化施設からの排ガスの汚染の経路および田村市大越町の排ガスの流れ、特に子供たちの通学時間帯での暴露予測をビデオで解説します。

日の出青梅の小学生や市民の健康被害を学校保健統計と保健所と厚労省の人口動態統計による疫学データで解説します。



藤原寿和さん

## バイオマス発電施設からのダイオキシン類による健康影響と労働者の被ばく

日本ではゴミの焼却等によって発生するダイオキシン類による健康被害の発生はないと厚生労働省や環境省は言っていますが、実際には焼却労働者や煙突から排出されるダイオキシン類等の有害物質に被曝する地域住民の中から健康被害者が発生していることは、国の内外の研究によって明らかになっています。

木質バイオマスを燃焼させることがいかに危険なことを明らかにします。



青木一政さん

## バグフィルター集じん率 99.9%のカラクリ

環境省などは住民への説明会で焼却炉のバグフィルターは集じん率99.9%として安全性を強調しています。しかしこれは全くのデタラメです。そのからくりをあばきます。

合わせて微小粒子（PM2.5）の危険性についても触れます。

